

文化財を後世に！第59回文化財防火デー開催！



■バケツリレーや、初期消火訓練も行われました。皆さん、お疲れさまでした！！



1月26日、尾県郷土資料館において、地元資料館協力会・自主防災会・消防団員などの方々の協力により、「第59回文化財防火デー」の火災防御訓練が行われました。

訓練では、放水ホースによる消火活動や、バケツリレーを行いました。

市民共通の貴重な財産である、文化財を火災・災害から保護し、後世に残しましょう。

都留市里地里山里水保全と利活用を促進するためのシステム調査研究会カフェ



現在、若手市職員が3つのチームを作り、市内各所を歩きながら「人や「場所」、そして「思い」などに出会い、その時に感じた現状を報告し、市民の皆さまと共有するためのカフェ（交流の場）を開催しています。

2月6日にエコハウスで行われた、「大発生チーム」による報告会では、動植物の発生をキーワードに感じた内容の発表が行われました。

その報告の中で浮き彫りになってきたのは、不法投棄によるゴミや汚水処理問題、都留の水を下流の誰が飲んでいるのか？など深く考える機会となりました。

鬼は～そと！福は～うち！！宝保育所で豆まきがおこなわれました！



■「おには～そと！ふくは～うち！！」と元気よく豆をまきました。



宝保育所で、節分の豆まきがおこなわれました。

子どもたちが節分についてのお話しや紙芝居を楽しみ、豆を食べながら部屋に戻ると、今年も2人の鬼が来ました。

子ども達は、もう泣きません、いじわるはしません、何でも食べますと豆をまき鬼を追い払っていました。

みんなもおうちで豆まきしたかな？

都留市の人口

H25.2.1 現在
 男 15,734人 (-22)
 女 16,406人 (-10)
 計 32,140人 (-32)
 世帯数 12,510世帯(-11)
 ※()内数字は前月比

3月の納税

納税には安全で便利な口座振替をご利用ください。

都留市民憲章

わたくしたち都留市民は

- 健康で明るいまちにいたします。
- 自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。
- たのしく働き、活気ある産業のまちに育てます。
- たがいに信じ、協力し、平和なまちをつくりまします。



市内で活躍する「人」・「団体」、市内の「出来事」などにスポットをあて、ご紹介するコーナーです。



小峰直さんのつるかぼちやニョッキのレシピが優秀賞に輝きました！



昨年秋、日本製粉株式会社が開催した、「第2回ご当地アイディア料理コンテスト」で、禾生第一小学校の小峰直さんが優秀賞を受賞しました。

小峰さんはつるかぼちやに興味を持ち実際に畑に行き、それを使ってニョッキを作りました。本来ニョッキはジャガイモを使って作るの一般的なですが、かぼちゃを使ったことにより、あまくもっちりとしたニョッキになるそうです。（このコンテストの様子は日清製粉株式会社のホームページからもご覧いただけます。）

また小峰さんは、のびのび興譲館のクッキング塾にも入っており、腕を磨いています。

小峰さん、おめでとうございます！これからも楽しく、美味しい料理を作ってください！

救命に尽力！シティホール都留に感謝状が贈られました！



1月23日、消防本部にて、黒部消防長よりシティホール都留に感謝状が贈られました。

これは、昨年12月に事業所内で突然意識を失った男性に対し、迅速かつ的確な心肺蘇生法を実施し、救命に大きく貢献したことに対して贈られたものです。感謝状は代表の渡辺裕之さんに手渡されました。

いざというとき「なんとかしたい」という気持ちがあっても自信がないとなかなか動けるものではありません。これは大変素晴らしいことです。シティホール都留の皆さん、ありがとうございました！

たくさん取れたかな？第11回市民俳句かるた大会開催！



2月17日、文化会館において、第11回市民俳句かるた大会が開催されました。

この大会は老若男女を問わず俳句に親しんでもらおうと、市俳句連盟が毎年開催しているものです。使用される「俳句かるた」は、俳句連盟会員の手作りによるものです。

当日は119名もの参加があり、幼児・小学校低学年・小学校高学年の3つの部門に分かれ、熱戦を繰り広げました。

優勝者は次の通りです（敬称略）。

幼児の部 佐藤菜那美（開地保育園）
 低学年の部 清水乙乃（旭小学校）
 高学年の部 飯山陽捺（東桂小学校）

皆さんおめでとうございます！